
4月の雨

総戯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

4月の雨

【Nコード】

N9022B

【作者名】

総戯

【あらすじ】

オレは目的地もなく好きな人について考えながら、歩いていた。そうしていたら歩道橋に彼女がいて…。

彼女と僕

学校の近くを歩いていると、ぽつぽつと雨が降りはじめた。今は4月12日。

傘をわすれたおれは、なにもささずに歩き続けた。すれ違う人は傘をさして
いないおれを、じろじろ見ていた。

別に目的地があるわけではないが、今日は外を考え事をして歩いて
いたかつた。考え事とは、好きな人についてだ。

オレの好きな人は、オレの親友と付き合っていた。そんな親友をオ
レは黙っ
て見ているしかなかった。だが、『今日別れる』とオレの親友であ
る、内人
が言った。理由を聞いたかつたが、聞けなかった。

それは、喜んでいいのか、彼女（佐藤 美緒）の立場になって、悲
しんだ方が
いいのか分からなかった。これからオレはどうする？告白した方が
いいのか、
いままで通り黙って見ている方がいいのかさえ、分からなかった。

それから、歩き続けていると、歩道橋で美緒が暗い顔で立ってい
た。

さて、みなさんだったらどうしただろうか？彼女に話し掛けるか、

それとも見ぬ

ふりをして立ち去っただろうか？オレは悩みながらも、彼女に話しかける事にした。

オレが歩道橋の階段を上がると美緒がオレに気がついた。

「佐藤。どうした？そんな暗い顔して。」

オレはなにも知らないふりをして話し掛けた。

「彦（あだ名。ちなみにオレの名前は佐藤 隆彦。）あのね、内人の親友なら知ってると思うけど、私達付き合ってたの。それがね、昼過ぎに別れよって言われたの…。」

今までそんな感じは、なかったの。昨日だって…。ゴメン話しがずれたね。それでね、意味が分からないまま、『それじゃ。』って切られたの。1分くらい経ってやっと

意味が分かったの。それが、悲しくて、うっうっ、えーん。」

いきなり泣かれてオレは困った。なにも出来ずに、ただ側にいてやるしかなかった。

それから…

それからおれはいや、僕（心の中では、僕とオレの両方を使っている）

は彼女と互いに相談しあう関係になった。彼女の方はもう吹っ切れてなんにも無かったように内人と話してる。

僕はいつもと同じく黙って見ただけだが、時折、美緒が話し掛けて

くれる。それは僕にとってのささやかな幸せだった。

そんなある日、僕はいつもより早めに学校に向かうと前の方に美緒がいた。

僕は駆け足で彼女に駆け寄った。

「おはよう、美…じゃなくて佐藤。」

あぶな。心の中では美緒と呼んでるから思わず下の名前で、呼んじやい

そうになった。

「ふふ、おはよう。今下の名前で呼びそうになったでしょ？心のなかで

は美緒って呼んでたりして？」

うっ、心を見透かされている。なんとかして話を変えなくちゃと思った。

「ちっ違うよ。まっ本当はそう呼びた…じゃなくて。」

何言ってるんだよ、オレどうしよう。ものすごく恥ずかしい。

「別にいいよ。美緒で、ヒコ（彦）なら。」

「えっ、マジで!?!」

僕はものスゴク驚くのと同時にものスゴク嬉しかった。

「マジだよ。それよりいつもより早いね。どうしたの？まさか、ウチに

会いたかったとか？」

「うん…ちがう、なに考えてんだよ。」

うんそうだよと、言いそうになった。そんな事は言えるはずもなのに。

「冗談だよ、冗談。そうだ今日さ聞いて欲しい事が…。」

僕らは他愛もない話しをしながら学校に向かった。
幸せだ、もっと話したいなと思った。

この時は僕はこの幸せがずっと続くと思っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9022b/>

4月の雨

2010年10月17日07時58分発行